

シラウオ（霞ヶ浦）

生態的特徴等：

【生態】

- ・全国の河川の河口域や汽水域、湖沼などに広く分布、茨城県では霞ヶ浦・北浦、涸沼などに分布する。
- ・1年で生涯を終える年魚で、霞ヶ浦・北浦での産卵盛期は3～4月、産卵場は水深1～2mの砂礫底。
- ・3月下旬から5月上旬に仔魚が出現し、7月には体長約3.5cm、9月に4cm、12月には7cmに成長する（図1）。

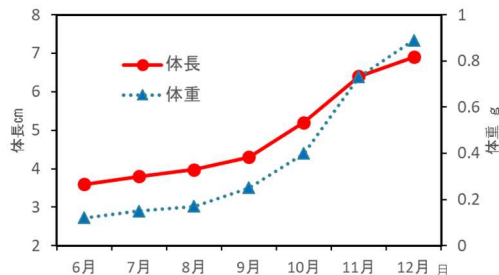


図1 シラウオの成長

【漁法と漁期】

- ・主にわかさぎ・しらうおひき網漁業（トロール漁）により7月21日～12月に漁獲される他、しらうお刺し網漁業などでも漁獲される。

【資源管理の取組】

- ・トロール漁において、資源動向に応じた操業時間の変更などの取組が行われている。

【利用】

- ・主にしらす干し、佃煮として食され、生きているときは体が透明なことから「霞ヶ浦北浦のダイヤモンド」とも呼ばれ生食用としても流通している。

資源診断：

資源水準は低位、動向は減少傾向 (漁獲量) H4年以降増加傾向となり280トンまで増加したが、H10年以降減少しH13年を除きH17年まで100トン以下で推移した。H18年以降は増加しその後100～180トンで推移している。R5年は32トンと急激に減少した(図2)。 (水準と動向) R5年の資源水準は過去30年間の漁獲量から「低位」、R6年までの直近5年間の動向は、操業日誌等を基に計算したCPUE (kg/隻・時間) の傾向から「減少」とした(図3)。	水 準
	低位
	動 向
	↓

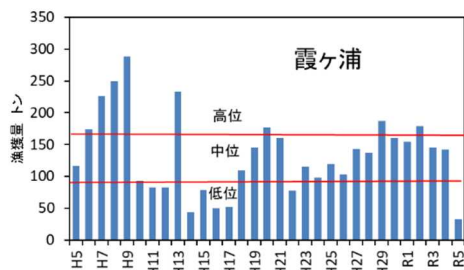


図2 シラウオの漁獲量（農林水産統計、属人）

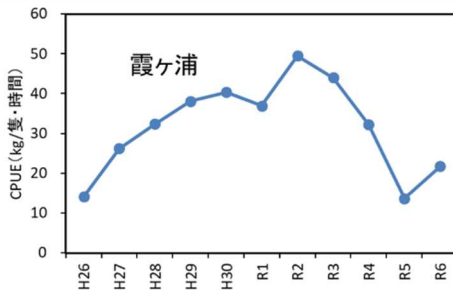


図3 シラウオのCPUE（トロール1隻1時間当たりの漁獲量kg）

【全国の漁獲量順位】 R5年：1位：青森、2位：茨城、3位：北海道

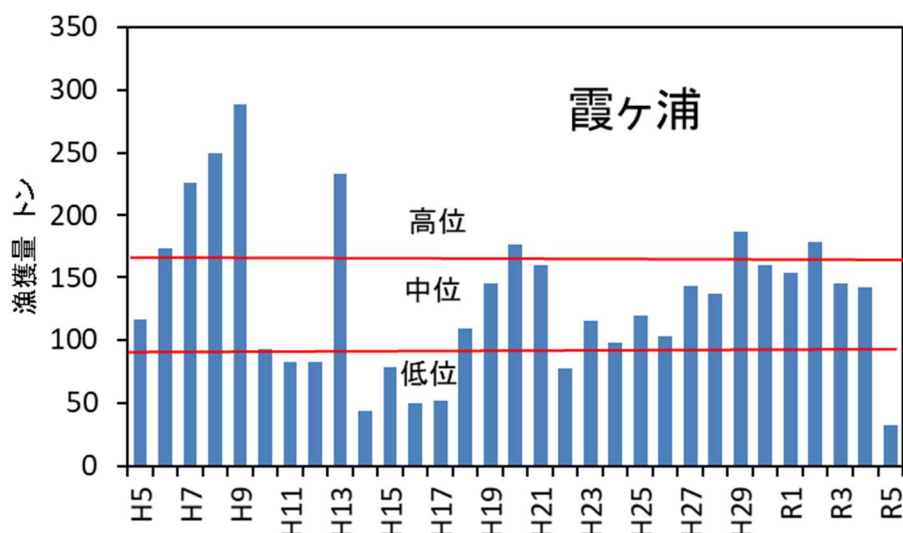


図 4 シラウオの漁獲量（農林水産統計、属人）

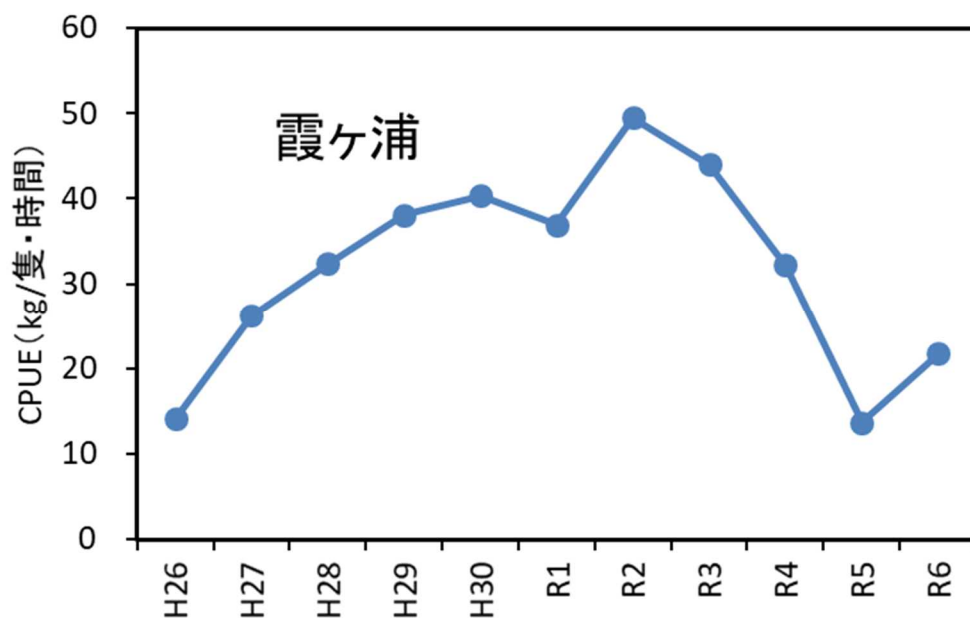


図 5 シラウオの CPUE（トロール 1 隻 1 時間当たりの漁獲量 kg）